

マルホ皮膚科セミナー

2023年5月22日放送

「第37回 日本乾癬学会 ①

シンポジウム2-3 乾癬患者のQOL」

東京慈恵会医科大学 皮膚科
教授 梅澤 慶紀

重症度の評価

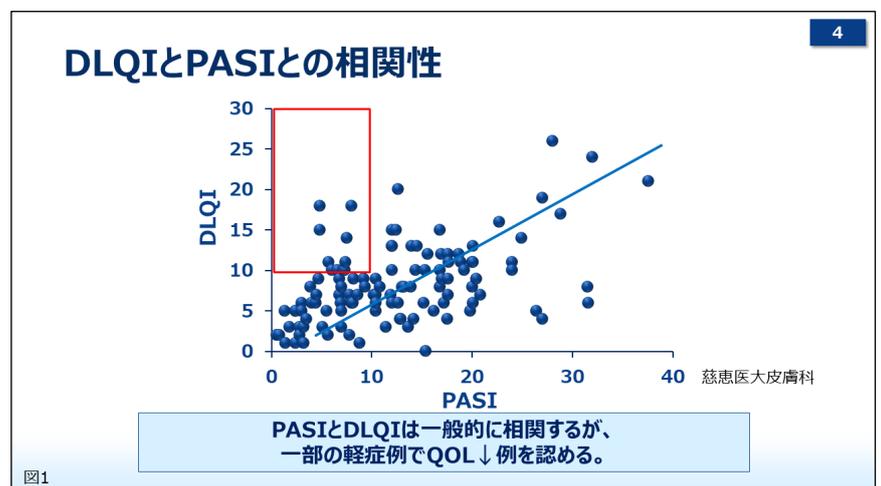
本日は乾癬のQOLについてお話しさせていただきます。

皮膚疾患では、皮膚の重症度とともに患者のQOLを重視し、治療計画をたてます。乾癬のQOL評価法はいくつかありますが、本日はその代表的な質問票と、その特徴についてお話しします。

乾癬の重症度の評価は、PASIスコアや病変面積であるBSAが用いられます。PASIスコアは、乾癬の皮疹を「紅斑」、「浸潤」、「鱗屑」を重症度に応じスコア化し、頭部、上肢、体幹、下肢の4部位における病変面積の係数を合わせて点数化されているものです。計算方法がやや煩雑ですが、乾癬の重症度の評価法として標準化されたスコアです。

病変面積であるBSAは、評価方法としてはPASIと比べ簡便に評価できます。重症度は皮疹の面積を示すもののため、個々の皮疹の重症度は評価できません。

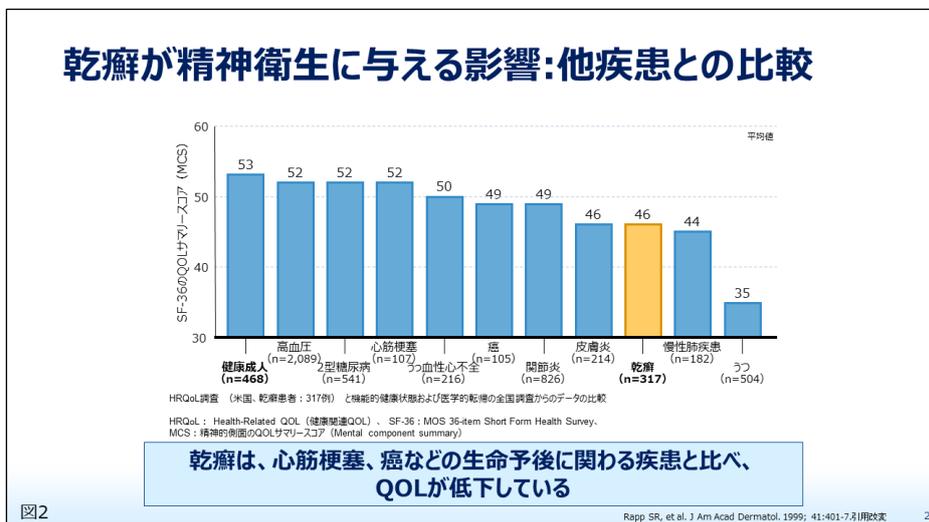
我々の施設で、PASIスコアとQOLの評価法であるDLQIとの相関性を検討しました。多くの症例では、PASIスコアとDLQIスコアに相関性を認めました(図1)。しかし、軽症であってもQOLが損なわれている症例が5~10%存在していました。即ち、我々が軽症



と考えている患者の中に、実は乾癬があることで日々の生活に支障を来している人が少なからず存在していることが分かりました。

QOL が低下し易い症例の特徴として、男女では女性が、年齢では若年者が、病変部位では頭、爪、露出部、などに病変がある場合に影響を受けるとされています。

乾癬患者では、その外観とともに、「かんせん」という病名から、「うつる病気ではないか?」「なんとなく気持ち悪い病気」などと誤解する人がいることから、患者さんは少なからず嫌な思いをするケースがあります。そのため、身体的にも精神的にも QOL が障害されていることが報告されています。そして、その QOL は糖尿病や癌患者よりも低いという報告があります(図 2)。



重症度基準の1つとして、「Rule of 10」という考え方があります。これは、「PASI スコアが 10、BSA が 10%を超える症例では、重症とみなした方が良い」という基準を示したものです。この Rule of 10 の中に DLQI が含まれており、DLQI が 10 を超える患者では、QOL の観点から積極的な治療を検討することが提言されています。

DLQI

DLQI について話をします(図 3)。DLQI は皮膚疾患で標準的に用いられる QOL の質問票で、最近 1 週間の QOL を評価します。質問の項目は、「痒みなどの自覚症状」、「不安などの心理的因子」、「日常生活の制限」、「勉強、仕事への影響」、「友人、恋人な

DLQI (Dermatology Life Quality Index)

ここ1週間で、

1. 皮膚に**かゆみや痛み** (ひりひり、びりびり、ずきずきするような)を感じましたか
2. 皮膚の状態のせいで、**恥ずかしく思ったり、まわりの人の目**が気になったりすることがありましたか
3. 皮膚の状態のせいで、**買い物や家事、家の仕事**をするのに支障がありましたか
4. 皮膚の状態のせいで、**服装に影響**がありましたか
5. 皮膚の状態のせいで、**人付き合いや自由時間の過ごし方**に影響がありましたか
6. 皮膚の状態のせいで、**スポーツ**をするのに支障がありましたか
7. 皮膚の状態のせいで、**仕事や勉強**がまったくできないことがありましたか
8. 皮膚の状態のせいで、**夫 (あるいは妻)、恋人、親しい友人、身内や親戚**の人たちとの関係がうまくいかないことがありましたか
9. 皮膚の状態のせいで、**性生活に支障**がありましたか
10. 皮膚の**治療や手入れのために**、たとえば家が散らかったり、治療や手入れに時間がかかりすぎるなどの問題がありましたか

図3

どとの人間関係」、「治療の煩わしさ」などの 10 個の質問でスコア化します。

ここでは、DLQI をイメージしやすいように、学会発表前の QOL に例えてみたいと思います。先生方は、発表 1 週間前に不安になることはないでしょうか？準備で忙しく、プライベートでの買い物に出かけることが少なくなったりしないでしょうか？服装に気を使わなくなることはありませんか？友達に飲み会に誘われても参加しないのではないのでしょうか？ジムに通っていたとして、お休みしたりしませんか？恋人と会う時間が減ったりしませんか？忙しくて家やデスクの片付けができず散らかったりしませんか？これらの項目がある程度当てはまる場合は、DLQI が 10 点くらいのスコアです。乾癬患者で「DLQI 10 点が長期間続く」という意味は、学会発表を年間に 10~20 回以上行うことと同程度のイメージです。生活の質がどの位低下しているか、想像できると思います。

PDI

続いて、乾癬患者専門に作成された QOL の質問票の PDI について説明します(図 4)。DLQI は皮膚疾患全般に使用可能な QOL の評価方法ですが、PDI は乾癬患者専用の評価方法です。QOL の期間は、DLQI が 1 週間であるのに対し PDI は 1 ヶ月と

PDI (Psoriasis Disability Index)

この1ヶ月間で、

- Q 1. 乾癬のために、**屋外で行う仕事**（ゴミ出し、庭掃除、洗車など）を控えることがありましたか？
- Q 2. 乾癬のために、**服の種類**・素材や色に気を使ったことがありましたか？
- Q 3. 乾癬のために、**服の着替えや洗濯**の回数が増えたことがありましたか？
- Q 4. 乾癬のために、**美容院や理髪店**に行くのを控えたり、支障が生じたことがありましたか？
- Q 5. 乾癬のために、普段より**入浴回数**が増えたことがありましたか？
- Q 6. 乾癬のために、**仕事や学校**を休んだり、遅刻・早退したことがありましたか？
- Q 7. 乾癬のために、**仕事や学校**で活動が思うようにできなかったことがありましたか？
- Q 8. 乾癬のために、あなたの**仕事上の立場や履歴・学歴**に影響が及んだことがありましたか？
例) 昇進（進級）できなかった、失業（退学）した、転職（転校）するよう言われた、など
- Q 9. 乾癬のために、あなたの**夫**（あるいは**妻**）、親しい**友人**、身内や**親戚**との関係がうまくいかないことがありましたか？
- Q 10. 乾癬のために、**異性**との関係に支障を生じたことがありましたか？
- Q 11. 乾癬のために、**人目に触れる場所に行くのを止めた**ことがありましたか？
- Q 13. 乾癬のために、**温泉**、サウナ、銭湯、海水浴場、プールなどの使用をためらったり、嫌がられたり、断られたことがありましたか？
- Q 14. 乾癬のために、通常より**タバコやお酒の量が増えた**ことがありましたか？
- Q 15. 乾癬あるいは乾癬**治療のために**、あなたの家が汚れたり散らかったことがありましたか？

図4

福地 修、他：日皮会誌 116:1583.2006

4

なっています。これは、乾癬が慢性の疾患であることを意味しています。質問数は、DLQI が 10 項目であるのに対して、PDI は 15 項目に増えています。その理由は、乾癬患者特有の悩みに関する質問が追加されているためです。PDI では、服装に関する質問が 2 つあり、服の種類や色、着替えや洗濯の回数に関する質問があります。また、美容院や理髪店に行くことへの支障や、入浴回数に関する質問もあります。これらの項目は、乾癬という疾患が頭部に生じることが多く、フケや鱗屑の問題が生活に支障を来しやすいことを反映しています。このように PDI は乾癬患者特有の生活に関する質問を多く含んでいます。したがって、乾癬患者の QOL をより正確に把握したい場合は DLQI ではなく PDI で評価を行った方が良いと考えられます。

HAQ

次に乾癬性関節炎に関する QOL の質問票について説明します。関節症状の評価で用いられる質問票の 1 つに HAQ があります(図 5)。

HAQ は元々、関節リウマチの機能評価に関する質問票です。乾癬性関節炎に対しても同様な評価が可能とされていま

す。質問項目の内容は、日常生活における関節症状に伴う障害について 20 個の質問で構成されています。例えば、衣類を着る時にボタンをしめることができるか、食事の時に茶碗やコップを持つことに困らないか、お風呂でタオルを使って体を洗うことができるか、歩行の問題や階段の「登り降り」に不自由はないか、水道の蛇口の開け閉めができるか、などの質問があります。これらの質問は、関節症状があることで、日常生活で障害となる事項です。我々皮膚科医は関節症状があることで、患者が日常生活で具体的にどのような問題が生じているか、理解するうえで、HAQ の質問票を活用することは有用と考えます。

PASE

次に乾癬性関節炎の質問票の PASE について説明します(図 6)。PASE は、症状に関する質問 7 つ、日常活動に関する質問 8 つの合計 15 個の質問から構成されています。PASE の良い点は、「症状」と「機能」の 2 つの評価ができることです。そして、スコア結果によって乾癬性関節炎と診断することもできます。症状

HAQ-DI (Health Assessment Questionnaire Disability Index)

		支障なくできる 0点	少し難しい 1点	とても難しい 2点	できない 3点
①身支度	A 靴ひもを結んだり、ボタンをかけるなど身支度ができますか B 自分で洗髪ができますか				
②起立	C ひじかけのないイスから立つことができますか D 寝たり起きたりの動作ができますか				
③食事	E 肉料理を切ることができますか F 水の入ったコップを口元を持っていくことができますか G 新しい牛乳パックをあけることができますか				
④歩行	H 平らな道を歩くことができますか I 5段の階段を上ることができますか				
⑤衛生	J 身体全体を洗い、タオルで拭くことができますか K 浴槽につかることができますか L トイレで座ったり立ったりできますか				
⑥伸展	M 頭の高さになる2kgの物(ノートパソコンなど)を取ることができますか N 腰を曲げて、床にあるものを拾い上げることができますか				
⑦握力	O 自動車のドアをあけることができますか P 広口ビンノフタをあけることができますか Q 水道の蛇口の開け閉めができますか				
⑧活動	R 用事や買い物にでかけることができますか S 車の乗り降りができますか T 掃除機をかけたり、庭掃除などの家事ができますか				

図5

Matsuda Y et al. Arthritis Rheum. 2003; 49(6): 784-788.

PASE (Psoriatic Arthritis Screening and Evaluation)

症状に関する質問

	全く同意しない	同意しない	どちらでもない	同意する	強く同意する
1. ほぼ1日中、疲労感がある	1	2	3	4	5
2. 関節が痛む	1	2	3	4	5
3. 背中が痛む	1	2	3	4	5
4. 関節が腫れる	1	2	3	4	5
5. 関節に熱感がある	1	2	3	4	5
6. 時々、手または足の指全体が腫れ「ソーセージ」のように見えることがある	1	2	3	4	5
7. 関節の痛みが、関節から別の関節に移動する (例：手指が数日痛くなった後、膝が痛くなる)	1	2	3	4	5

日常活動に関する質問

8. 関節の問題が自分の仕事に影響を与えていると感じる	1	2	3	4	5
9. 関節の問題が自分の身の回りのことを行う能力に影響を与えている (例：服を着る、歯を磨く)	1	2	3	4	5
10. 指輪や時計をすることに困難がある	1	2	3	4	5
11. 車の乗り降りが困難である	1	2	3	4	5
12. 以前ほど活発に行動できない	1	2	3	4	5
13. 朝の起床時に2時間以上こわばりを感じる	1	2	3	4	5
14. 1日のうち、朝が一番辛い	1	2	3	4	5
15. 時間帯に関係なく一日中うまく動けるまで数分かかる	1	2	3	4	5

図6

Dominguez P, et al. Arch Dermatol Res. 2009; 301(8):573.引用改変

に関する質問では、1日中倦怠感がある、指全体がソーセイジ様に腫れる、関節の疼痛部位が移動する、などの乾癬性関節炎の特徴的な症状に関する質問があります。機能に関する質問では、指輪や腕時計をすることが困難である、朝のこわばりが2時間以上続く、などがあります。PASEの質問票はHAQと同様に乾癬性関節炎の症状をよく現しており、診察時にチェックすべき事項が含まれています。

QOLの質問票の課題

最後に、QOLの質問票の課題についてお話をします。乾癬に限らず質問票の調査に共通して言えることは、正確性を追求すると質問項目が多くなってしまいます。質問が多いことで回答するための時間がかかり、患者には負担をかけることになってしまいます。また、臨床試験などで同じ質問票を定期的の実施すると、回答者に「馴れ」が生じ、結果として不正確な結果となる場合があります。QOLを定期的に評価することは乾癬の診療で重要ですが、限られた時間内で多くの質問票を実施することは現実的に困難です。従って、患者の病状に合わせて適切な質問票を選択し、実施することが必要となります。また、対象者の年齢に関しては、一般的な質問票が成人を基準に作成されているため、小児や高齢者には不適切な質問項目が含まれている場合があります。

また、患者が精神的な問題、例えば「不定愁訴が多い」、「心配性」などがある場合は、バイアスが生じる可能性があり、スコアが高くなる傾向があります。

本日は、乾癬のQOLの質問票についてお話しました。QOLが低下しているかどうかは、患者の訴えや病状によって、ある程度推察できます。しかし、一部の患者では、その外観や検査結果では判断できない場合もあります。乾癬患者や乾癬性関節炎患者の日常生活の困っていることを知るためにも、質問票が役立ちます。本日の話題が、先生方の診療の一助になれば幸いです。

「マルホ皮膚科セミナー」

https://www.radionikkei.jp/maraho_hifuka/